

第2回検討会議で出された主な意見

項 目	主な意見
○ 整備の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 市内中心部の整備を優先し、周辺部はその後という段階的な整備方針を示すべき。 ➤ ロードマップを示しながら量的拡大を行っていくべき。多くの人に通行ルールを知ってもらうためには、条件が揃ってできるところから進めていく方法もある。 ➤ 自転車や歩行者交通量等を整理し、重点性が見えるようにすべき。 ➤ 事故の多くは交差点で発生しているので、交差点から整備していくやり方もある。 ➤ PDCA サイクルについては、必要に応じて見直しを検討することも大切である。
○ 背景及び目的	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 自転車歩行者道上に路面シールや看板などを設置しているが、頭上の高い所に看板を設置してもあまり効果がない。
○ 自転車通行環境のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 市内の現状（自転車の利用や事故の状況）を考慮すると、市内中心部を最重要エリアとして整備を進めるべき。 ➤ 幹線道路への誘導を考えているのであれば、きちんとその方向性を示すべき。 ➤ 自転車レーンについて、24時間の規制ができなければ、時間帯規制をかけるなど、検討すべき。規制をかける条件の整理も必要である。 ➤ 自転車道については、交通量や幅員などを考慮した上で、自転車の一方向通行の導入も有り得ることを示しておく必要があるのではないか。